

新型コロナ集団感染対応報告

社会福祉法人さざんか会 北総育成園

副園長 白樫久子

1. 利用者・職員の感染者状況

①. 利用者

年代	在籍人数	感染者	非感染者
80歳代	2	2	0
70歳代	5	5	0
60歳代	18	15	3
50歳代	16	15	1
40歳代	19	10	9
30歳代	7	4	3
20歳代	3	3	0

②. 職員

職種	在職者数	感染者	非感染者
常勤男性	19	16	3
常勤女性	12	5	7
厨房 (栄養士・調理員) (パート含む)	9	5	4
事務	4	1	3
非常勤	20	10	10

2. 保護者・家庭の連絡

- ・3月28日(土) 全家庭へ電話連絡① 入所70名 短期入所・通所者10名
- ・29(日)30(月) 全家庭へ電話連絡② (陽性か陰性か? 現在の状況)

- ・4月 2日付 お詫びとご報告第一報 (個人食事・熱・睡眠他)
- ・ 9日付 二報 (個人食事・熱・睡眠他)
- ・ 21日付 三報 (個人食事・熱・睡眠他・PCR検査結果)
- ・5月 1日付 四報 (個人食事・熱・睡眠他・PCR検査結果)
- ・ 8日付 五報 (個人食事・熱・睡眠他・PCR検査結果)
- ・ 15日付 六報 (入所全員陰性化・千葉県報道15報添付)
- ・ 27日付 七報 (個人写真を添えて・今後について見通し)

離れて暮らすわが子・兄弟姉妹への心配は、いかほどだったかと……。

本当にご心配をおかけしました。温かい励ましと見守りを頂きありがとうございました。

3. 終息までの経緯

3月28日～29日PCR検査①	入所者陽性者51名	短期入所・通所6名陽性
4月19日～20日PCR検査②	全員検査	(陽性者54名)
4月29日～30日PCR検査③	32名陰性化確認	(陽性者18名)
5月 6日～ 7日PCR検査④	15名陰性化確認	(陽性者 3名)
5月12日～13日PCR検査⑤	3名陰性化確認	

・在園する入所者の陰性化確認、5/14対策本部による支援を終了

⇒5月15日に、千葉県より「在園利用者全員の陰性化」を報道発表

入院後亡くなられた方2名・入院中3名

2週間以上経過し新たに陽性確認された入所者はなく、クラスター全員の陰性化が確認。

⇒6月4日に、千葉県より「北総育成園集団感染の終息」を報道発表

4. 勤務状態

職員6割感染(自宅待機者も)の中で、
法人職員・船橋市職員が利用者療養・介護の応援に。

通常(平日)

朝勤 6:30~15:30 北総4名
早日勤 7:30~16:30 北総2名
日勤 8:00~17:00 北総12名前後
遅日勤 10:00~19:00 北総1名
夕勤 12:00~21:00 北総4名

他、非常勤職員が日中10名程度

夜勤15:30~翌9:30 北総2名
管理当直 北総1名

4月6日(月)

朝勤 7:00~18:00 2名(北総1名・法人1名)
日勤 8:00~19:00 2名(北総2名)
日勤 8:00~18:00 3名(船橋市職員3名)
夕勤 9:00~21:00 1名(北総1名)

夜勤14:30~翌10:00(北総1名・法人1名)

入所施設は356日24時間体制のため、陰性職員が10名いても
日中勤務者は5~6名しか、確保できない(夜勤・明け・公休)。

5. 職員の確保 住まい・家族・モチベーション

○職員宿舎(2階建て・10部屋)

- ・元々使用者の他、陰性職員が家庭を離れて使用(3名)
- ・陽性職員が入院が決まるまで家庭を離れて使用(3名)
- ・退院してきてからも2週間から1か月は職員宿舎を使用(7名)
- ・職員宿舎の消毒・・・専門業者

○元自立訓練棟(2階建て一軒家)

- ・法人職員(①4名が20日間 ②3名が10日間・1名は上記宿舎)

○町内の閉校した小学校(船橋市から東庄町への依頼)

- ・船橋市職員(介護チーム3名・事務2名が8日間・①②③④⑤⑥)

家族から離れて、未知の業務に従事してくれる職員への配慮と感謝

6. 生活支援 ①食事

3月28日(土) 利用者26名職員31名PCR陽性。県より食事・生活は個室使用と指示。

29日(日)栄養士と電話・FAXでメニュー・発注相談 4/2昼までは弁当発注できた。

・全個室に配膳・食事介助・療養に人手がかかる。

「千葉県知的障害者福祉協会クロネコチームからのお申し出」

- ・ 衛生物品(掃除用具・タオル他)・飲み物や非常食を届けて下さる。
- ・ 4/1(火)から、昼夜のお弁当を調達して5/17(日)まで毎日配達して頂いた。
(成田市内・千葉市内・柏市内から届けて頂いた)
- ・ 使い捨て食器の確保。5000個の寄贈あり何とか賄えた(注文しても配達不可)。
- ・ 高齢者・重度者が多く、刻み食やペースト食の準備。発熱者・療養者への病人食。
- ・ 4月は刻み食すらできず、同法人なずな工房職員が、刻んで運搬
- ・ レトルト食・冷凍食多用。リゾットやゼリー, 補水飲料などの寄贈ありがたかった。

5. 生活支援 ②入浴・洗濯・掃除 他

- ・~~最初の2週間は、対策本部の指導もあり清拭と衣類交換~~
- ・入浴・洗濯・掃除の手順は、感染症専門医師・専門看護師による指導の下に繰り返し学び、マニュアル化
- ・個々の障害特性への配慮・適切な支援を専門的に工夫
- ・クリーニング業者・清掃業者・ゴミ回収業者は、6月から。

- ・とにかく、職員が足りず買い物や物品準備ができない。銀行や郵便局も北総職員を受け入れてくれない。居住空間にある掃除用具などが使えない。電話や問い合わせがやまない。外部との渉外。
- ・**対策本部の専門的な支援があったから、維持できた。**

6. 全国からの応援・地元の応援と励まし

- 集団感染報道から毎日非難や中傷の電話。職員への風評被害。
- その何十倍もの応援と励まし ○ 笑顔と思いやりを大切に。
- 職員の心身健康管理とモチベーションの維持
- この人達と職員でまた北総で生活し仕事をしたいという希望
- 地元の応援 ○ 保護者の見守り ○ 全国の皆さんの応援

* 今までのお付き合い・信頼関係がどれ程重要かを再確認

* 入所施設として社会的責任を果たしていく為、日常的に

施設機能が持続可能な人的・物的の具体的な準備と心構え

7. 今後の課題

○園の衛生管理体制の見直しと徹底

非常時にも、入所施設の機能を維持する使命と社会的責任。 行政・関係機関との連携。

○職員の確保と衛生管理指導

- ・4月～5月のコロナ対応中に、感染症専門医師・看護師・保健師さんから、毎日指導を受けてきた。
- ・5月22日に、香取保健所所長・感染管理専門看護師から、衛生管理指導①
上記をもとに、現在感染防止衛生管理マニュアルを作成し、全職員が取り組んでいる。
- ・6月18日に、感染管理専門看護師から、衛生管理指導②……今後も実施予定
- ・障害者支援施設特有の仕組みや、個々の障害特性への適切な支援を専門的に工夫する。

○物資・資材の確保(今回は、船橋市から多大な物品の納入と管理をしていただいた)

- ・サージカルマスク ・消毒用アルコール 他 医療用品
- ・PPE(個人防護服):ガウン・手袋・N95マスク・キャップ・フェイスシールド・ゴーグル 他
- ・非常食・使い捨て容器・介護食・補水飲料 他 食品・飲料